

1 調査目的

地域の交流や支えあい、認知症をはじめフレイル予防等の介護予防活動の普及啓発を実施していくために、地域にある社会資源として、民間とのコラボレーションが可能かどうかの聞き取り調査を実施した。

2 調査対象

喫茶店、コンビニ、金融機関、郵便局、書店、薬局、スーパー、商業施設等 125 件

3 調査内容

- (1) 市の事業について、チラシの掲示が可能か
- (2) 店舗内でのイベント実施（スペースの使用）は可能か
- (3) その他意見

4 喫茶店（抜粋）

- (1) 調査件数 37 件
- (2) チラシなど掲載可能店舗 20 件
- (3) 条件によってはスペース使用が可能 5 件
- (4) 意見
 - ① 協力が難しい店舗の意見
 - ・日中はとても混んでいるので協力できない
 - ・多忙により高齢者の話し相手になっている時間はない
 - ・人手不足
 - ・モーニング、ランチの時間は混み合う
 - ② 条件によってはスペースの利用が可能な店舗
 - ・利用客の連絡先をすべて把握している
 - ・講習会などで利用してもいいが、珈琲などを注文してほしい

5 調査からの考察（喫茶店について）

- ・人が集まる時間は店側も忙しく、稼ぎ時であり、地域貢献として市の事業実施に人も、場所も提供が難しい。
- ・お互いに対等の関係をもって事業を実施するには、参加者にも応能負担をしていただく必要がある。
- ・店側はスペースを確保し、実施は別に考える必要がある。